



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和3年5月4日

No. 2

令和3年度 5月朝礼あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

4月16日の始業式から登校が始まり、入学式で新しいメンバーを迎え、現在まで皆さんと学校でいっしょに勉強できていることを、とてもうれしく思います。これから先も、登校を続けることができるよう、新型コロナウイルスにかからないよう十分注意して、学校でもお家でも過ごしてください。

いよいよ5月になりました。日本では、明日5月5日は、端午（たんご）の節句（せっき）と言って、こいのぼりや武者（むしゃ）人形を飾り、ちまきや柏餅を食べてお祝いします。皆さんにそのような日本の伝統を感じて欲しく、学校の玄関にもこいのぼりを飾りました。中学部の皆さんが、ロープにこいや吹き流しをつけてくれました。ロープはジャミルさんが、張ってくれたものです。ありがとうございました。この5月にこいのぼりを飾るという伝統は、日本だけだそうです。どのようないわれがあるか知っていますか。それは、日本ではなく中国のある伝説がもとになっています。その伝説では、中国の黄河という大きな河の上流に、龍門という滝がありました。その滝を、この魚（こいの絵を示す）が登りきることができると、この生き物（龍の絵を示す）に変わることができるというものです。このことを“登龍門”と言います。大きく立派に姿を変えることから、わが子が、社会で成功することに願い、こいが滝を登る姿を表したこいのぼりを、江戸時代ごろから飾るようになったそうです。私も、日本の伝統を知ってもらっただけでなく、皆さんが将来、立派になってくれることを願い、飾りました。

さて、実は皆さんも毎日毎日、滝を登っているのです。何のことか、わかりますか？

「えっ、そんなことしてないよ。」

と思う人がいるかもしれませんが、この滝を登るといのは、自分にとって苦しいことや大変なことに挑戦するという意味なのです。毎日、教室で勉強したり、宿題や自主学習、習い事等に取り組むことは、テレビを見たりゲームをするのとは違い、大変な時も多いと思います。でも、それを頑張ることができたとき、皆さんは龍（立派な人間）になれるのです。やがて、このジョホール日本人学校で学んだ皆さんが、立派に成長し、世界中に飛び立っていってくださることを強く願います。



◎保護者の皆様へ

先週の個人面談、ご来校ありがとうございました。また、合わせて実施しました校長との懇談会もご協力いただき、心より感謝申し上げます。どちらも、限られた時間ではございますが、1年間の教育活動をスタートするにあたり、保護者の皆様と我々教員とが、直接お会いし交流を図ることのできる、貴重な機会となりました。

今週末の5月8日（土）には、授業参観が予定されております。新型コロナウイルス感染防止のため、変則的な形で実施となっておりますが、SOPにご配慮いただきながらご参加いただければ幸いです。

先日お知らせしましたように、本校は、今後も対面での授業を継続する予定です。（学校関係者より新型コロナウイルス感染者が出た場合、教育省の方針が変更した場合は別です。）現時点で運動会は、SOPを遵守する形で実施する方向で検討しております。（こちらも、今後の状況により、変更の可能性がございます。）